

放射線診断科

放射線診断専門医の必要性・重要性が一層高まってきています。

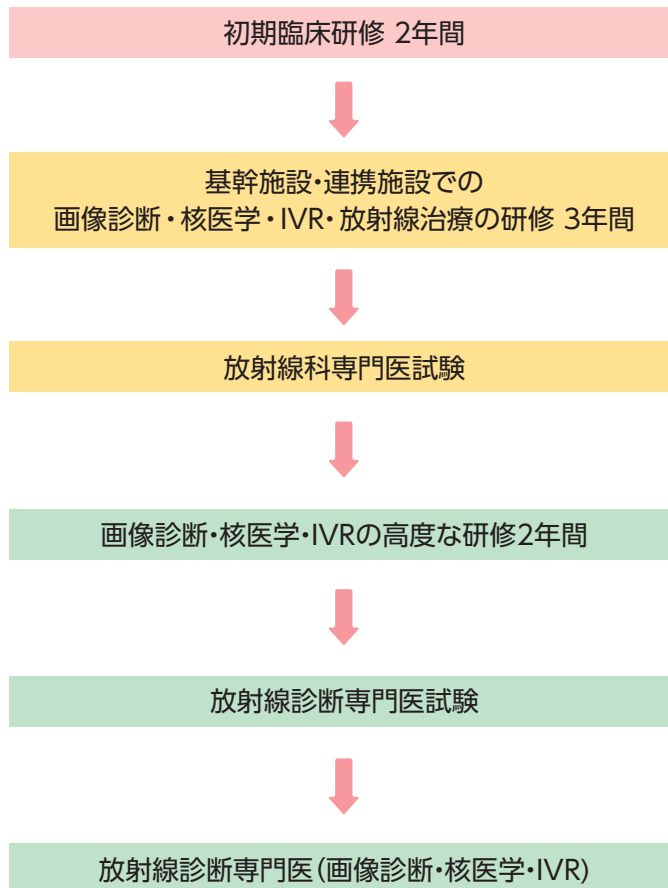
● 診療科の紹介 ●

急速な進歩を遂げている現代医療の中でも、放射線医学・診療における技術革新には目を見張るものがあります。その一方で、医療を評価する社会の目は年々厳しさを増しています。このような背景から、最先端の技術を使いこなし、様々な診療科・診療領域に横断的に関わる専門家として、放射線診断専門医の必要性・重要性が一層高まってきています。画像診断は、病名診断のみならず機能評価や治療効果判定にも用いられ、医療の画像への依存度はどんどん大きくなっています。多くの画像情報から適切な診断を導くには、専門のトレーニングを受けた医師による読影が不可欠です。また様々な検査を使いこなすために、検査の交通整理をするような医師が必要です。このような役割を担うのが放射線診断専門医で、今後ますます需要が高まっていくと思われます。

● 専門研修プログラムの特徴 ●

連携施設 香川県立中央病院、高松赤十字病院、香川労災病院、四国こどもとおとなの医療センター、キナシ大林病院、滝宮総合病院

放射線診断専門医取得までの研修プログラム



● 取得できる専門医資格および技能 ●

- 放射線科専門医 ●放射線診断専門医
- 核医学専門医 ●IVR専門医 ●PET核医学認定医 ●マンモグラフィ読影認定医 ●第1種放射線取扱主任者など

放射線治療科

放射線治療は「がんを切らずに治す」重要な選択肢のひとつです。

● 診療科の紹介 ●

放射線治療は、手術や薬物療法とともに、がん集学的治療の中で重要な役割を果たし、根治と緩和の両方に貢献できる治療です。近年、機器の高精度化により、治療成績の向上と副作用の軽減が達成され、多くのがんの標準治療のひとつとして推奨されています。一方、極めて不足している「放射線治療専門医」を増やすことは緊急の課題とされており、がん対策基本法に基づいて、国策として育成を図る施策が講じられています。当科では2014年に高精度リニアックが稼働し、IMRT（強度変調放射線治療）を前立腺癌や頭頸部癌だけでなく、神経膠腫や婦人科癌に対しても積極的に行っています。2022年に高精度リニアック2台体制となり、転移性脳腫瘍に対する定位放射線治療を行えるようになりました。また、肺癌のみならず、腎癌に対しても定位照射を提供する等、適応拡大に努めています。なお、高精度治療だけでなく、がん集学的治療の一環として、幅広い領域のがん治療を、各診療科と緊密に連携して行っています。

● 専門研修プログラムの特徴 ●

「香川大学医学部附属病院 放射線科専門研修プログラム」の基幹施設を放射線診断科と協力して担っています。研修コースには、臨床医としての研修に重点をおくもの、専門医取得と博士号取得を同時に目指すもの等が設定されており、希望に応じた3年の研修を経て「放射線科専門医」を取得できます。

その後は、さらに2年のサブスペシャリティ研修を経て「放射線治療専門医」を取得できます。

● 研修に関する行事 ●

当科におけるカンファレンス、関連診療科との合同カンファレンスやカンサーボード等で、消化器癌・頭頸部癌・肺癌・婦人科癌等の疾患の病態から治療までの過程を学習することができます。

● 取得できる専門医資格および技能 ●

- 放射線科専門医
- 放射線治療専門医

